

ガーデンシティふかや推進室[ふかや緑の王国・深谷市榎引24-2(花植木流通センター隣)] ☎551-5551
花を愛し、人を愛し、地域を愛するまちづくり!!

JAPAN BIRD HOUSE

ジャパンバードハウスコンテスト

第13回ジャパンバードハウスコンテスト2021 鳥の審査の部
第14回ジャパンバードハウスコンテスト2022 人間審査の部
結果発表 ※敬称略

2021『鳥の審査の部』

最優秀賞

いとう ことろう
伊藤 虎太郎『鳥からの贈り物』

優秀賞(一般)

しまだ はるき シンプルイズベスト
嶋田 遥生『Simple is best.』

優秀賞(小学生以下)

せきぐち こうへい
関口 航平『いっぱい入るとりのうち』

特別賞

もてぎ ゆいと
茂木 結都『とりのすばこ』
くぼ みのり『カラフル巣箱』
くらはやし はな
倉林 花『鳥の巣箱』

2022『人間審査の部』

※最優秀賞該当なし

優秀賞(一般)

やまざき おうすけ
山崎 桜介
『幸せの青い家』



優秀賞(一般)

なかむら まほ
中村 真歩
『和紙の家』



優秀賞(小学生以下)

はしもと いぶき
『水あそびができる家』



特別賞



なかむら あゆ
中村 彩結
『バードポスト』



こばやし しょうた
小林 将太
『夏の思い出バードハウス』



まつしま とあ
松島 叶亜
『ごうかなおうち』

2021『鳥の審査の部』への応募作品および2022『人間審査の部』への応募作品の中から、それぞれ入賞作品が決定しました。なお、応募作品は『ふかや緑の王国』で展示していますので、ぜひお越しください。
※2022『鳥の審査の部』の結果は、令和5年8月に、鳥の実際の営巣により決定します。

市内の公共花壇が春に向けた装いに!

市民ガーデニングボランティアが維持管理している公共花壇(JR深谷駅北口ステーションガーデン、深谷駅通り、国道17号沿い、城址公園)で、春に向けピオラやキンギョソウなどの花苗や、市の花であるチューリップの球根を植え込みました。

JR深谷駅北口ステーションガーデン、城址公園では、地元の深谷小学校4年生の皆さんが植え込み作業をお手伝いしてくれました。

また深谷駅通りの植え込み作業では、埼玉りそな銀行の職員にご協力をいただきました。近くにお出かけの際は、ぜひご覧ください。

植え込み作業の様子



▲JR深谷駅北口ステーションガーデン



▲国道17号沿い



▲深谷駅通り



▲城址公園

深谷駅北口ステーションガーデンのイルミネーション点灯中!

令和5年1月9日(祝)まで点灯中です。ぜひご覧ください。

点灯時間：日没～JR高崎線の終電

休園情報

ふかや緑の王国は、年末年始(12月29日(木)～令和5年1月3日(火))は休園します。

第13回ふかや緑の王国写真コンテスト

令和4年中にふかや緑の王国の敷地内で撮影された作品を募集中です。

締め切り：令和5年1月6日(金) (必着)

※新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、中止になる場合があります。 ※体験および教室では各自でマスクを準備し感染予防対策をしてください。 ※水分補給のため各自でペットボトルや水筒など用意してください。

『ガーデンシティふかや』『ふかや緑の王国』ホームページのほか、ツイッター(@garden5551)、『ふかや緑の王国』フェイスブックもご覧ください。

12月3日(土)～9日(金)は障害者週間です

☎障害福祉課 (☎571-1011・☎574-6667)

『障害者週間』は、障害の有無にかかわらず、誰もが相互に人格と個性を尊重し、支え合う共生社会の実現を目指す週間です。障害者の自立および社会参加を促進し、住み慣れた地域で豊かに安心して暮らすことができる環境づくりに、ご協力をお願いします。

障害に関する各種相談などは以下の窓口へ

障害者やその保護者などへの各種相談、情報提供、権利擁護のために必要な援助を行っています。お困りのときは、気軽にご相談ください。

【深谷市障害者基幹相談支援センターうらら】

(☎551-8777・☎551-8778・境168-1)

対象 知的障害者、身体障害者、精神障害者、難病患者
相談時間 月～土曜日 午前8時30分～午後5時30分

【相談支援センターいっしょう】

(☎577-5524・☎574-6667・仲町11-1 深谷市役所障害福祉課内)

対象 知的障害者、身体障害者、精神障害者、難病患者
相談時間 月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分
(木曜のみ午後7時15分まで)

【相談支援センターYeast(療育相談)】

(☎577-3540・山河1054-1ハイム松島1階)

対象 発達障害などの障害のある児童
相談時間 月～金曜日 午前9時～午後5時

【地域生活支援センター向陽】

(☎599-2020・熊谷市石原519-5)

対象 精神障害者
相談時間 月～土曜日 (窓口) 午前9時～午後5時・
(電話) 午前9時～午後7時

出張相談(要予約) 毎週木曜日 午後1時30分～4時30分・
掃部寮(深谷城址公園内)

【深谷市障害者虐待防止センター(基幹相談支援センターうらら内)】

(☎070-3666-1199・境168-1)

虐待に関する通報や相談を受け付けています。

対象 知的障害者、身体障害者、精神障害者、難病患者
相談時間 年中無休・24時間受け付け

畠山重忠を知る

深谷市ゆかりの武士



武蔵武士の鑑

畠山重忠

地元から生まれた武士「在地武士」は、土地の権益を固く守るために武装化した領主層で、血縁関係などで結びついて「党」と呼ばれる武士団を形成しました。深谷市一帯には、丹党や猪俣党などの在地武士団がいました。丹党には畠山氏とのつながりが特に深い。澤氏が、猪俣党には岡部氏、人見氏、内島氏、荏原氏、蓮沼氏、横瀬氏があり、それぞれ本拠とする地名を名乗りました。

岡部氏は普濟寺付近に館を構えた。西丸、元屋敷などの地名が残ります。岡部六弥太忠澄は、一の谷の戦いで名將の平忠度を討ち取り、菅場の清心寺には六

弥太が建てた忠度供養塔があります。また、普濟寺の北方には、六弥太一族の墓と伝わる五輪塔が建てられています。人見氏は美里町川輪地区を本拠とした河内氏の出身で、人見氏館跡には堀と土壘が残り、人見の一乗寺境内には人見氏累代の墓と伝わる五輪塔と板碑があります。荏原氏も河内氏の出身で、江原の浄光寺周辺に館を構え、内島氏は内ヶ島の永光寺付近に、蓮沼氏は蓮沼の淡島神社付近に館を構えたといわれます。

また、新開氏は石橋山の戦いにも参加した御家人で、大河ドラマにも登場する土肥実平の子が養子に入り、新開荒次郎実重を名乗りました。実重の墓は新戒の東雲寺にあります。

一方、畠山重忠のように天皇を先祖とする一族は貴種として尊ばれ、婚姻や主従関係を結ぶなどして、在地武士をまとめて大規模な勢力を形成しました。そして武士たちは、土地を守るため「所懸命」に戦いました。彼らが名乗った古くからの地名は、今と昔をつなぎ、その地の歴史そのものでもあります。